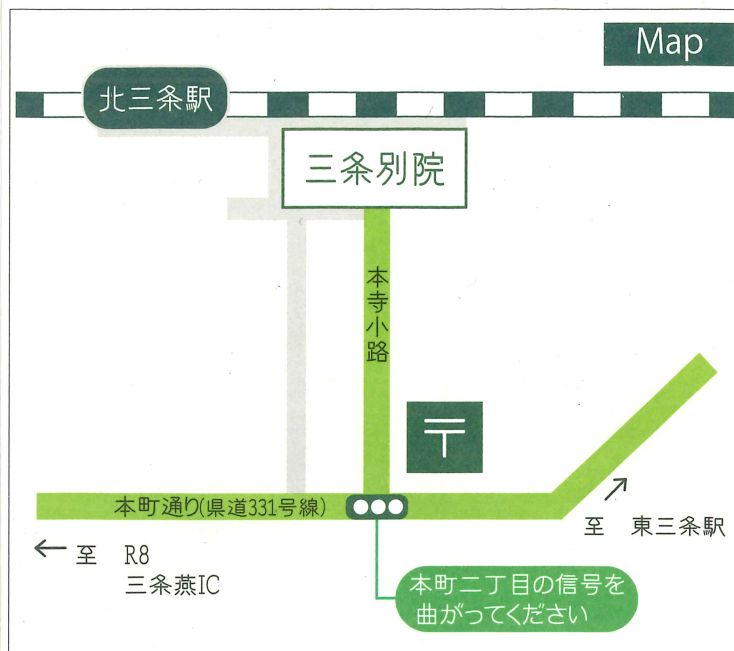




真宗大谷派 三条別院

<http://sanjobetsuin.or.jp/>



カーナビをご利用の方は「三条本町一郵便局」と入力して下さい。

(郵便局前まで来ますと別院本堂が見えます)

※駐車スペースあります

◇電車で◇

上越新幹線

…燕三条駅下車、タクシーで約10分

信越本線

…東三条駅下車、タクシーで約7分

バスで約10分「本町1丁目」下車

弥彦線

…北三条駅下車、駅から徒歩約3分

◇車で◇

北陸自動車道、三条燕ICから約10分。

県道331号線「本町二丁目」交差点を曲がった突き当たりです。

真宗大谷派 三条別院

〒955-0071 新潟県三条市本町2丁目1-57

(電話) 0256-33-0007



三条別院は元禄三(一六九〇)年に創立され、二度の大火に見舞われて焼失しますが、その都度、越後と佐渡の門徒によって再建されました。二〇一五年の親鸞聖人七五〇回御遠忌法要にあわせて御修復が行われ、現在も中越・下越佐渡の寺院とその門徒の拠り所として歩みを続けています。



親鸞聖人を偲ぶ「お取り越し報恩講」を毎年十一月五日〜八日の四日間に渡って執り行います。参道には露店が並び、春の「三条祭」と並んで街を代表する行事のひとつとして親しまれています。

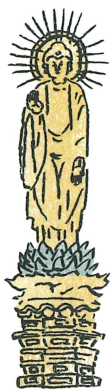
△写真右は本寺小路あかり物語、左はお取り越し報恩講の様子▽

三条別院

法要・行事

三条別院の本堂へようこそ

三条別院本堂のきらびやかな装飾には、随所に仏教の教えや意味が込められているんです。



阿弥陀如来

浄土真宗の御本尊は阿弥陀如来です。「すべての人々をもらさず助ける」ことを誓われた仏様です。



親鸞聖人

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人で、御影は御本尊に向って右側に掛けられています。「真向きの御影」と呼ばれる正面を向いた絵像が掛けられているのが別院の特徴です。

襖絵

三条市出身の絵師、狩野永雲（1850～1934）作。孔雀は蛇（煩惱の象徴）を食べる鳥として、仏教で親しまれてきました。この絵は明治期の本堂再建の際に作成されたものです。

この他にもご紹介したいところが沢山あります。お気軽にお越しください

イラスト／坂本雅美

三条別院でなければできないことがここにある

真宗大谷派三条別院は日本全国に52ある東本願寺（真宗本廟）の別院の一つです。新潟県内の僧侶・門徒が結集して力の限り勤める「お取り越し報恩講」のように、大規模な法要行事が特徴で、下記のように様々な法要や行事を行っており、「人と地域に開かれた別院」＝「どなたでも安心してお参りいただける場所」としての歩みを続けています。また、仏教を聞くこと「聞法」と言い、浄土真宗ではとても大切にしています。

－ 行事やイベント －

【年中行事】

- 1月1日 ●修正会
- 3月 ●春彼岸会法要
- 5月 ●三条別院公開講座（4月・6月の場合有り）
- 6月 ●御坊市
- 8月 ●朝の人生講座・夏の御文拝読
- 9月 ●秋彼岸会法要・朝の人生講座
- 11月3日 ござさま寄席
- 11月5日から8日 ●お取り越し報恩講（6日シアターサンジョーゴボー）
- 12月31日 除夜の鐘

【定期開催】

- 毎朝7時 晨朝（朝のお勤め／法話）
- 毎月1回（1・7月を除く） 声明教室
- 毎月第2・4水曜日 書道教室
- 毎月13日（1・8月を除く） ●定例法話
- 毎月28日（27日連夜法要） ●御命日のつどい

●は法要と法話があります。

【地域のイベント】

- 「三条マルシェ」（不定期）
- 「本寺小路あかり物語」毎年9月または10月



－ 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要の様子 －

2015年5月